



東京都立

八王子南特別支援学校 学校だより

令和7年12月18日発行
第8号

八王子市鏈水2-88-1

電話 042-675-8373

発行者 校長 濱辺 清

よろこびの歌

校長 濱辺 清

酷暑だったことを忘れるほど、12月に入り寒さが一段と冷え込んできました。街中のイルミネーションや、クリスマスのBGMなど、年の瀬を感じる季節です。

年末になると、日本ではベートーベンの「第九」の演奏会が多く開催されます。「よろこびの歌」としてなじみがある曲です。先日、普通科2年生の音楽の授業でも演奏していました。作曲したベートーベンは、ドイツの詩人シラーの作詩した「歓喜に寄す」に感動し、22歳のころに、この詩に曲をつけようとしていました。実際には、詩とメロディーが結びつき、実際に交響曲が完成するまでには、30年余の歳月を要しました。その間、自身の体調や家族のことなど数々の試練がありました。「第九」のテーマである「苦悩を突き抜けて歓喜へと至る」は、まさしくベートーベンの生涯そのものでもあります。

日本で初めて「第九」が演奏されたのは、第一次世界大戦の際、徳島県にあった坂東俘虜収容所^{ばんどうふりょしゅうようじょ}に収容されたドイツ兵によって演奏されました。その様子は本や映画などでも紹介されています。近年では、東日本大震災の後、東京で犠牲者を追悼するために演奏されてます。海外では、1989年12月に東西冷戦の象徴であるベルリンの壁が崩壊した直後に、ヨーロッパの名門オーケストラ楽員がベルリンへ集結し、「フロイデ！（歓喜）」を「フライハイト！（自由）」と置き換えて「第九」が歌われました。分断や差別による衝突が世界的な問題となっている今の時代において、ベートーベンの「第九」は、共生社会の実現へ、平和の方向へどのように歩んでいくのかを訴えかけているように感じます。

年が明けると、大瑠璃祭^{おおるりさい}に向けての準備が本格化します。これまでの練習の成果を思う存分発揮するため、年末年始を無事故で過ごすことができるよう、保護者の皆様には御協力のほど、よろしくお願いします。

令和7年度冬季休業日中の過ごし方について

平素より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。あと数日で冬季休業期間に入ります。保護者の皆さまには、お子様の少しでも気になる様子や変化などありましたら遠慮なく担任まで御連絡いただければと思います。各御家庭におかれまして、生徒を守り、育てる体制を確認し、生徒が希望と意欲をもって冬季休業日を過ごすことができますよう、御協力の程、よろしくお願いいたします。

冬休みを迎えるにあたり以下の4点を生徒にお伝えします。是非ご家庭でもご確認ください。

① 規則正しい生活習慣を送りましょう

冬休み中は、睡眠時間や食事管理など不規則になることがあります。毎日の規則的な習慣などを心掛け、計画的に生活できるようにしましょう。また、学校からの宿題や家事分担、日誌などの冬休みの課題がありますので計画的に実施してください。

② 安全に気をつけましょう

外出する際には、目的地、同行者、帰宅時間、連絡方法などを必ず保護者へ伝えるようにしてください。また、不審者にあつたら直ちに駆け込むようにすることや「いかのおすし」……「いか」ついていけない、「の」車にのらない、「お」おおごえを出す、「す」すぐ逃げる、「し」周りにしらせるなどを心掛けてください。

乾燥した天気が続くと、火災が起きやすくなります。出かける前や、寝る前などは、必ず火の元を確かめましょう。

③ SNSを正しく使いましょう

最近では、オンラインゲームやSNS等のやりとりをきっかけに、闇バイト、詐欺、誘拐などの重大な事件に巻き込まれる危険があります。使用時間や使用制限を決め、決められたルールに従って使用することをお願いいたします。

④ 自分や仲間を大切にしましょう

どんなに小さなことでも心配なことがある場合は、学校はもとより、保護者をはじめ信頼できる大人や 24 時間受付の「東京都いじめ相談ホットライン（0120-53-8288）」、「性暴力救援ダイヤルNaNa（03-5577-3899）」等の外部の相談機関に相談してください。

・学校閉庁日について

冬季休業日中での学校への御連絡はなるべく8:30～17:00でお願いいたします。また、冬季休業中の閉庁期間は 12 月 27 日(土)～1 月 5 日(月)となりますのでよろしくお願いいたします。閉庁期間に緊急の連絡がある場合は、080-3472-1193 に御連絡ください。